

## Z世代から広がる新しい「親密さ」とは！？

### 位置情報共有がもたらす、新しいつながり「シン密圏」

—HAKUHODO HUMANOMICS STUDIO がレポート第4弾を発表—

株式会社博報堂、博報堂DYグループの株式会社 SIGNING は、生活者発想で経営を考える研究開発・社会実装プロジェクト「HAKUHODO HUMANOMICS STUDIO」の活動の第四弾として、1,500万以上DLされている位置情報共有サービス「whoo your world」を運営する株式会社 LinQ を共同研究パートナーとして「シン密圏プロジェクト」を発足し、本日レポートを発表しましたのでお知らせいたします。

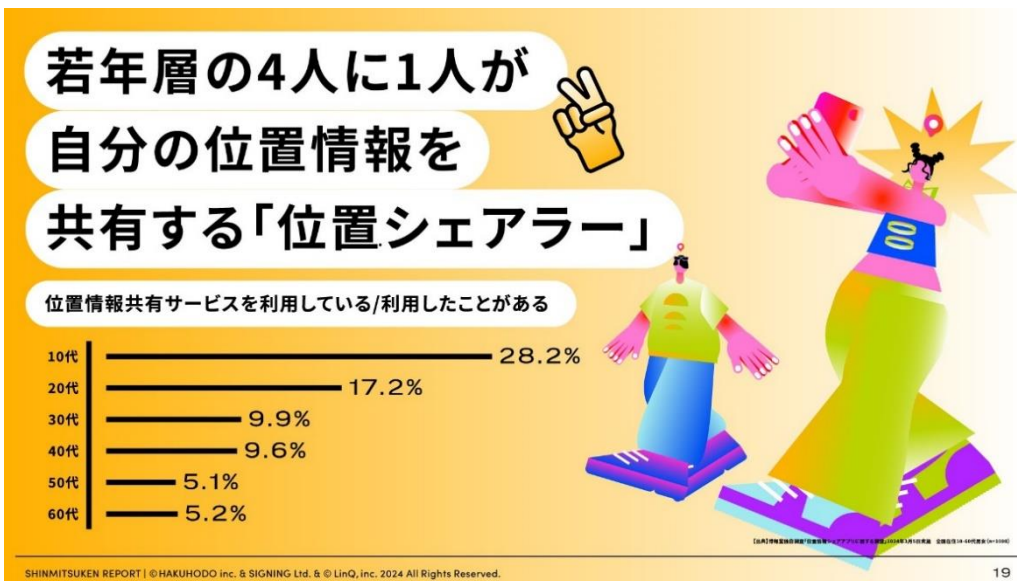
>レポートはこちら [https://www.hakuhodo.co.jp/humanomicstudio/assets/pdf/SHINMITSUKEN\\_Report.pdf](https://www.hakuhodo.co.jp/humanomicstudio/assets/pdf/SHINMITSUKEN_Report.pdf)



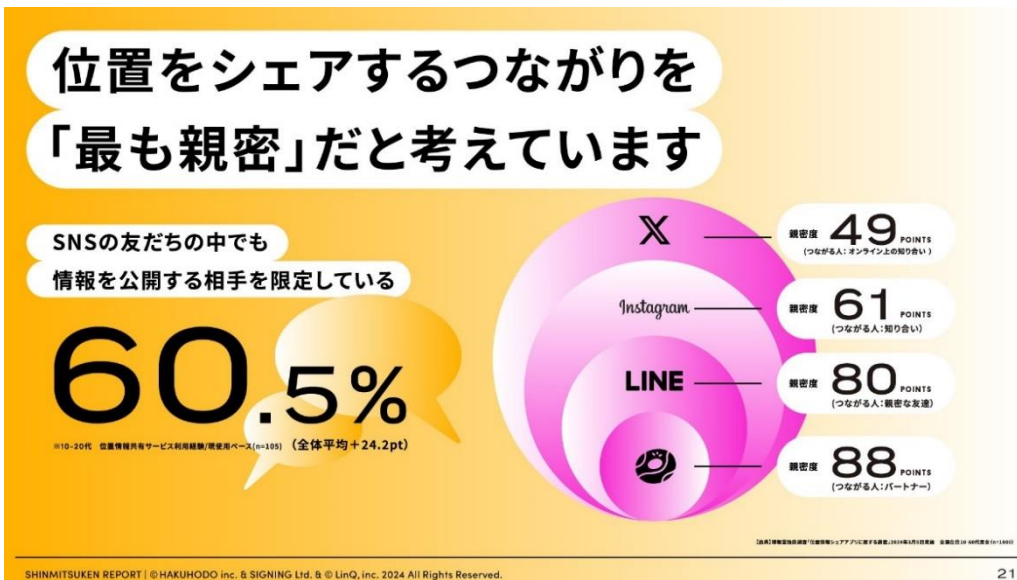
社会のオンラインシフトを背景に、「人と人とのつながり」のあり方が変化しています。「シン密圏プロジェクト」では、SNS が生活のインフラとなった現代における「親密さ」を捉え直すべく、Z世代を中心に広がる位置情報のシェアに着目。位置をシェアすることで生まれる、“親しさ”から広がる新たなつながりを「シン密圏」と名付けました。レポートでは、その実態を細解くとともに、「シン密圏」が世代に閉じた現象ではなくZ世代を超えて幅広い世代に広がりうる価値観と捉えたときに、これから訪れるかもしれない、選択可能でオルタナティブな社会の姿を「オルタナ社会」として提言し、ビジネスを考える上で示唆となるキーワードを提示しています。

本プロジェクトでは、「つながり」に関する実態把握を目的とした、全国の10～60代男女対象のWeb定量調査に加え、位置情報共有サービスを既に使っているユーザーのデプス調査、位置情報共有サービスを使ったことがない20～40代を対象とする実証実験を実施。位置をシェアする行動の背景にある価値観や行動の因果をエスノグラフィ視点で分析する「イチノグラフィ」という独自のアプローチを採用し、有識者へのインタビューも行いながら、「つながり」「シン密圏」について考察・提言しています。

・若年層の4人に1人が自分の位置情報を共有する「位置シェアラー」



・位置シェアラーにとって、位置をシェアする繋がりが「最も親密」



・位置シェアラーは自分と位置が近い人と「ついで会い」を行っている

## 位置シェアラーは 自分と位置が近い人と 「ついで会い」を行っています

ユーザーインタビュー USER INTERVIEW

新宿にいたとき、たまたま近くにいた友だちからアプリでメッセージが送られてきた。お互いの予定があったので、改札でちょっと会って、立ち話をしてバイバイしました。(20代男性・学生)

外出する予定があるときは、終わった後に、近くにだれか会える人がいないかアプリで確認しています。近くに友だちがいたら、誘ってご飯に行くことがあります。(10代男性・学生)

SHINMITSUKEN REPORT | © HAKUHODO inc. & SIGNING Ltd. & © LinQ, inc. 2024 All Rights Reserved. 25

・同僚の位置を見ると、言葉を交わさなくても連帯感が生まれる

イチノグラフィ実証実験 ICHINOGRAPHY DEMONSTRATION EXPERIMENT

## 言葉を交わさなくても、 位置から仲間の状況を読み取って 励ましや連帯感を感じていました

会社でみんながファイヤーしているのを見ると、同じフロアにいないでも、一緒に働いている気持ちになります。  
(20代男性・会社員)

疲れたときに、みんなが会社にいるのを見ると、私も頑張るか〜と思えます。  
(20代女性・会社員)

【読者同僚3人とのコミュニケーション実証実験レポート】 2024年12月発表 | © 2024 LinQ, Inc. All Rights Reserved. | 01 | ファイヤーシフトは、withでつなぐ新しい働き方を実現するための、withの事業上の実証実験。

SHINMITSUKEN REPORT | © HAKUHODO inc. & SIGNING Ltd. & © LinQ, inc. 2024 All Rights Reserved. 33

・位置をシェアすることで、「親密さ」から広がる、新しいつながり「シン密圏」

イチノグラフィ実証実験 ICHINOGRAPHY DEMONSTRATION EXPERIMENT

## ICHINOGRAPHY から見えた「シン密圏」

親密さ + シン密圏

親しみ

賑わい 信頼 深め合い 安心

SHINMITSUKEN REPORT | © HAKUHODO inc. & SIGNING Ltd. & © LinQ, inc. 2024 All Rights Reserved. 55

・「シン密圏」の先に広がるオルタナ社会



交流の形は「待ち合わせ」から「引き合わせ」へ  
短尺で高密度に交流する  
オルタナ社会

自分から日程や目的地や集合場所を事前に決めなくても、すでに相手がいる場所(与誰かの現在地)に引き寄せられるように行動したり、相手と自分の位置の中間地点で合流する新しい集いの生まれ方が位置シェアを中心に生まれつつある。今後は、今まで前もって決めていた「目的地」や「待ち合わせ場所」の必要性が曖昧になり、求められる体験価値が今その場にいる人の状況や気分によって流動的に変わるものになるだろう。また、そもそも会う予定がなかったのにスキマ時間で会う行動が一般化することで、誰かリアルで出会うハードルがより下がり、短い時間でエッセンシャルなコミュニケーションを行う機会が現状よりも増えるかもしれない。

オルタナ社会から広がるビジネスキーワード

カスタマージャーニー

モーメント

店舗設計

街づくり

モビリティ

リアルイベント

予測データ

ついで会い

## ■定量調査概要

調査目的:現代の「つながり」に関する実態把握のため。

実査時期:2024年3月5日

調査方法:WEB 定量調査(マクロミルモニタ)

対象者:日本全国在住 10-69歳男女(1000ss)\*広告代理業を除く

## ■イチノグラフィ概要

調査目的:位置をシェアする行動の背景にある価値観や行動の因果をエスノグラフィ視点で分析する

実査時期:2024年1-3月

調査方法:デプスインタビュー、グループインタビュー

対象者:

- 1 ユーザーインタビュー:5ss
- 2 実証実験 若年世代の同僚同士:6ss  
・2~4週間の実証実験後にグループインタビューを実施
- 3 実証実験 同じ趣味を持つ人同士:10ss  
・2~4週間の実証実験後にグループインタビューを実施
- 4 実証実験 多世代にまたがる同僚同士:9ss  
・2~4週間の実証実験後にグループインタビューを実施

## ■「HAKUHODO HUMANOMICS STUDIO」について

「HAKUHODO HUMANOMICS STUDIO」は、博報堂とSIGNINGの共同プロジェクトとして、2023年4月に始動しました。企業間の競争が性能や機能から人の体験価値にシフトしていく中で、企業経営や経済活動を人間らしさの観点から捉え直し、よりよい企業、より豊かで望ましい社会の実現を目指そうとする考え方を「Human + economics = Humanomics (ヒューモノミクス)」と捉え、Humanomicsのコンセプトのもと、レポート等の情報発信に加え、経営へのコンサルティング、事業・サービス開発等の支援を行っております。

URL: <https://www.hakuhodo.co.jp/humanomics-studio/>

## ■株式会社 SIGNING について

2020年に株式会社博報堂DYホールディングスが設立したソーシャルビジネススタジオ。「社会課題解決×事業成長」をテーマに、よりよい社会への「兆し」をとらえた最先端の研究開発、社会実装と、独自のナレッジをもとにしたソリューションを提供しています。

URL: <https://signing.co.jp/>

## ■株式会社 LinQ について

2019年に原田豪介氏が創設。友達とより仲良くなれる位置情報共有SNS「whoo your world」を開発しています。コミュニケーションを通して、大切な人がワクワクする世界を作りたいという理念のもと、インターネットサービスを提供しています。

URL: <https://linq.co.jp/>

報道関係者のお問い合わせ先 : 博報堂 広報室 03-6441-6161 [koho.mail@hakuhodo.co.jp](mailto:koho.mail@hakuhodo.co.jp)

レポートに関するお問い合わせ先 : [contact@hakuhodo-humanomics-studio.jp](mailto:contact@hakuhodo-humanomics-studio.jp)